

## 2012 年度 小委員会活動成果報告

(2012 年 2 月 14 日作成)

小委員会名	建築論・建築意匠小委員会	主 査 名：岸田省吾 就任年月：2009 年 4 月
所属本委員会 (所属運営委員会)	建築歴史・意匠委員会	委員長名：伊藤 毅 主 査 名：
設 置 期 間	2009 年 4 月 ～ 2013 年 3 月	
設 置 目 的 各年度活動計画 (箇条書き)	(1) 日本および海外の建築論・建築意匠に関する研究の持続的収集(基礎的な文献資料のデータベース化) (2) 建築論・建築意匠論研究の方法論の研究 (3) 学際的、国際的研究交流(公開研究セミナーの開催) (4) 研究成果の公表(公開研究会の記録の刊行)	
委員構成 (委員名(所属))	委員公募の有無：なし 岸田省吾(東大)、奥山信一(東工大)、朽木順綱(京大)、入江正之(早大)、坂牛卓(東京理科大)、下吹越武人(法大)、白井秀和(福井大)、田路貴浩(京大)、富永譲(法大)、前田忠直(京大)、三田村哲哉(兵庫県立大)、宮部浩幸(武蔵美)	
設置 WG (WG 名：目的)	建築論事典改訂 WG：建築論事典の増補改訂について準備、検討する	
2011 年度予算	210,000 円	ホームページ公開の有無：あり 委員会 HP アドレス： <a href="http://news-sv.aij.or.jp/rekishi/s4">http://news-sv.aij.or.jp/rekishi/s4</a>

項 目	自己評価
委員会開催数	2 回
刊行物 (シンポジウム資料等は 除く)	
講習会	
催し物 (シンポジウム・セミナー・研究会・見学会等)	
大会研究集会	
対外的意見表明・パ ブリックコメント等	
目標の達成度 (当初の活動計画と得ら れた成果との関係)	1. 研究情報の収集は『建築論事典』増補版刊行にむけ議論をすすめた。 2. 方法論の研究、研究交流は連続セミナーにより成果をあげた。 (『建築論の現在』第 12 回「建築デザインにおける既存、既存という場所を 巡って」を公開委員会として開催、出席者約 70 名)
委員会活動の問題点 ・課題	1. 活動費の支出に関する自由度が少なく機動的な委員会開催に支障がある。